

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	ムザファルガール県住民の生計及び衛生環境の向上
(2) 事業内容	<p>①生計向上のための作物栽培</p> <p>(イ) 事業地内の2村(約1700世帯)に対して、過去の事業において住民とすでに関係を築いている提携団体のボランティアが調整役を担い、村のリーダーと住民間での話し合いを実施した。高収益作物栽培の栽培計画や生計向上について発案があり、意欲的な94世帯(Chan Wala村50世帯、Ultra村44世帯)を住民間で選定し委員会を設立した。ファイサラバード農業大学のアドバイスの下、選定された94世帯間で協議を行い、パキスタン国内の需給状況や一般への浸透度合いを考慮し、タマネギ、ニンニク、ゴマ、レモングラス、モリンガの栽培を決定し、対象世帯に種子・苗木を配布した。対象世帯は種子・苗木受取後、一週間以内に播種・移植を終え、ボランティアによる毎週のモニタリングと共に、技術指導を必要に応じて受けている。乾燥した圃場から苗床に集中したミミズや7月上旬に起こった熱風の影響により、タマネギの種及び新芽の一部が被害に遭った。そのため、降雨が期待できる8月以降、タマネギの栽培を再開する予定である。</p> <p>(ロ) 選定された94世帯から運営委員会を設立し、委員会メンバーには2村から19世帯が選定された。委員会メンバーは、ボランティア立ち合いの下、隔週でミーティングを行い、組織運営方針の決定や委員会組織強化を目的としたトレーニングを受けている。</p> <p>(ハ) 農作物の栽培例と販売に関する聞き取り調査を事業地近隣にて実施し、苗木や加工品の需給や流通についての調査をイスラマバード、ムルタンおよびラホールにて実施した。</p> <p>②モデルとなる水質浄化施設の建設</p> <p>(イ) 2011年に当会が実施した水質調査結果を踏まえ、特にヒ素濃度が高い事業地内2村のヒ素濃度分布地図を基に、長年ヒ素対策に従事する日本人水専門家からの助言の下、Bahauddin-Zakariya大学と水質汚染の地質要因について協議を行った。水質調査については、発注した調査用試薬の受取遅延により、調査の実施が遅れているが、8月初旬から現地水専門家指導の下、開始予定である。</p> <p>(ロ) 水質調査未実施のため、簡易型飲料水浄水施設の建設には至っていないが、日本人水専門家が現地滞在する9月に水質検査結果を基に立地場所を特定の上、浄水施設を建設予定である。</p> <p>(ハ) 簡易型飲料水浄水施設の維持管理に関する委員会の組織化、ワークショップの開催、(ニ) ヒ素に関する啓蒙活動及び簡易型飲料水浄水施設の仕組みや効果に関する実演、についても浄水施設の建設遅延により実施していないが、建設準備を開始する9月より随時開始していく予定である。そのため、未実施の浄水施設建設、委員会の組織化およびヒ素に関する啓蒙活動は事業期間内に終了する見込みである。</p>

<p>(3) 達成された効果</p>	<p>①生計向上のための作物栽培 (イ) 提携団体ボランティア立ち合いの下、実施された住民間のミーティングでは、参加した約120世帯の農家の中から94世帯が事業対象に選定され、名簿を作成した。高収益作物栽培ワークショップには事業対象農家の90%以上が出席し、ワークショップ終了時に行う挙手・聞き取りによる確認アンケートでは、参加者の80%(約75世帯)以上が講習内容について理解を示す回答が得られた。(ロ) 生計向上運営委員会19世帯と生計向上運営グループに参加する75世帯の名簿を作成した。月2回行われる委員会内のミーティングにて組織の運営方針を話し合い、決定事項を記録に残した。また、事業資金の積立に関しては、管理・保管上の理由から、集金を行っていない。現在は別の方法を検討している。</p> <p>(ハ) 栽培したレモングラスをムルタンの小売店等に卸しているガジィ・ガート近郊の農家を訪問し、栽培方法・卸売方法等の情報提供を受けた。調査結果を記録に残し、生計向上運営グループと共有した。レモングラスは、特に地元及びブンジャブ地方で需要が伸びているため、ムルタンやラホール、イスラマバードの市場での苗木と茶葉の需給状況、流通および市場価格について調査を実施した。</p> <p>②モデルとなる水質浄化施設の建設 (イ) 水質調査を4月から実施予定であったが、発注した試薬の受取遅延により、水質調査開始が遅れている。7月末から対象地域にて井戸水のサンプル採取を開始した。</p>
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>①生計向上のための作物栽培 ・栽培作物の販路開拓を目的とした市場調査を引き続き実施する。さらに、栽培中の農作物に付加価値をつけるため、レモングラスを使った緑茶作りや他の栽培作物を使用した石鹸作りを実施し、事業地の周辺地域やムザファルガール、ムルタン市内で販売できるようトレーニングを実施する。</p> <p>・委員会設立後に持続的な組織運営が出来るよう、組織運営に関するトレーニングを行う。特に組織内での紛争解決方法などについて定期的なトレーニングを実施する。</p> <p>②モデルとなる水浄化施設の建設 ・パキスタン水質基準値を上回るヒ素濃度が検出された地域を対象に、8月から現地水専門家立ち会いの下、重点的な水質調査を行い、原水に適したヒ素除去方法の選定および設備設計を行う。その後、Bahauddin-Zakar iya 大学と日本人水専門家からの助言の下、水質調査結果より地質分析を行い、簡易型飲料水浄水施設の設置場所の検討および設備設計を行う。また、検査試薬受取の遅れに伴い、日本人水専門家は9月に現地へ渡航することとする。簡易型飲料水浄水施設の建設を開始し、施設維持のための運営管理についてのトレーニングを実施する。</p> <p>また、Bahauddin-Zakar iya 大学及び日本人専門家と連携し、ヒ素及び硝酸を取り除く浄水システムを設計し、水質検査後、早急に建設に取り掛かる。浄水施設の管理を行う委員会に対しは、浄水措置の</p>

	<p>維持管理及び組織運営についてのトレーニングを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">・現地水専門家のアドバイスの元、ヒ素、硝酸についての啓蒙活動をを実施する。
--	--